



「コロナ禍」二年目の自治会活動

自治会長 斉藤眞幾男

いまだ終息の目途がたたない、新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会活動の制約が余儀なくされています。いくつかの予定していた行事を中止せざるを得ない状況が今も続いています。

しかしながら、コロナ禍をチャンスと捉え、昨春秋には、自治会館にネット回線を導入し、毎月開催している「定例会」にリモートでも参加できる様にしました。より多くの方々が会議に参加でき、会議の所要時間も短縮することができました。

防災セミナーや、年末に行ったイベントも、ネット配信を交えて開催しました。多くの皆様にお集まりいただいていたその他の会合も、資料やマニュアルを整備することにより、会合そのものを廃止する等、業務改善にも取り組みました。

「定期総会」は二年続けての書面開催となりましたが、多くのご意見・ご要望を伺うことができる機会になりました。今後も、感染状況を注視しながら「安全で安心そして楽しく住みよい町づくり」のために、役員・委員の皆様と一緒にになって、自治会活動を推進してまいります。

令和3年度仲手原自治会定期総会議案書 表決結果

- 第1号議案 賛成:341 反対:0
令和2年度事業報告の件
 - 第2号議案 賛成:341 反対:0
令和2年度歳入歳出決算報告及び監査結果報告の件
 - 第3号議案 賛成:341 反対:0
令和3年度役員改選(案)の件
 - 第4号議案 賛成:341 反対:0
令和3年度事業計画(案)の件
 - 第5号議案 賛成:338 反対:3
令和3年度歳入歳出予算(案)の件
- 5月16日に予定されていた自治会定期総会は中止となり、各議案は「書面表決書」により表決することになりました。
- 5月31日締切で投函専用箱を確保した結果は左記の通りとなり、すべての議案は過半数もつて可決されました。

令和3年度 新班長・委員決定

例年3月の定例会で予定されている新旧役員・班長・委員交代懇親会は中止となり、自治会執行部から4月1日付けで、新班長・委員の発表がありました。

詳細に関しては5月に配布しました「令和3年度仲手原自治会定期総会議案書」4頁の「報告」を



令和3年度自治会役員

岡田二郎 江村 清 久保寺 功 築地美恵子 亀山弘江 小松眞一 押尾泰典
(監査役) (業務部長) (防災・防犯部長) (総務部長) (監査役) (企画部長) (広報部長)

阿部ふさな 堀内由理 斉藤眞幾男 村野明美 和田恵美子
(庶務部長) (会計部長) (会長) (副会長) (厚生部長)



参照してください。なお、この頁は「自治会連絡体制」役員・班長・委員「一覧表」を兼ねています。

9班	8班	7班	6班	5班	4班	3班	2班	1班	2丁目	12班	11班	10班	9班	8班	7班	6班	5班	4班	3班	2班	1班	1丁目	令和3年度 班長
明星 圭介	須江 毅	目崎 良	横内 稔充	狩野 千鶴	小栗 健	高徳 洋子	村上 久枝	竹内信博 愛理		徳永 兼吾	佐藤 光晴	高島 進	柚木 勇	小野 徹	青木 孝代	端山 良雄	佐野 敦	大澤 幸子	川井美代子	天野 滋文	高橋万里子		

コロナ禍に対応した自治会活動

広報部 押尾泰典

リモート会議で定例会に参加する班長さん



令和2年2月のダイヤモンドプリンセス号横浜入港で、突然のように新型コロナウイルスが私たちの身近になってしまいました。感染防止の観点から自治会活動の形態や内容を見直す必要はなりません。

毎年3月に自治会館で行ってきた新班長・新組長さんへの業務説明会は実施困難になり、説明資料を作成して配布し、お読みいただくことにしました。また、自治会総会は「書面表決方式」となりました。例年開催してきた5月の「ふれあいまつり」8月の「夏まつり」が中止になってしまいました。



今後は、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種の状況などをみながら、自治会として必要な事業や各種イベントを、感染防止と安心・安全に配慮して開催してまいります。

9月に自治会館にインターネットが導入されました。毎月開催される定例会（班長会議）には、約半数の班長さん・委員がリモート会議システムを利用して参加されています。また、例年開催している「防災キャラバン」「仲手原寄席」「街かど医学塾」などのイベントは、自治会館からライブ配信されました。

第一次緊急事態宣言解除後、各種グループ・団体による自治会館の利用を再開しました。入館時に手指消毒とマスク着用を義務付け、窓を少し開けて換気に留意し、使用後の椅子やテーブルは消毒液で拭いていただくことを利用ルールに追加しました。また、洋室・和室に3台の塩素系空気清浄除菌装置を設置しました。



「第2どんぐり学童クラブ」は、松見町にある「どんぐり」から27年前に分離し仲手原でスタートしました。しかしこれまでの建物事情から、昨年12月に同じ仲手原の新しい会場に引っ越すことになりました。父母会会長の木戸口さんと事務局長の横内さんにお話を伺いました。



現在第2どんぐり学童クラブには、港北小と白幡小に通う子どもたち25名が在籍していますが、放課後になるとここに集まり手づくりのおやつをいただき、宿題をしたり、コマやけん玉などの遊びをしたり公園で外遊びしたりと自由に過ごしています。家庭的な雰囲気の中、1年生から6年生までの異年齢の子どもたちが同じ会場で過ごすことが学童保育の特徴の一つです。年間行事としては、4月の歓迎会や自治会主催のふれあいまつりや夏まつりへの参加、サマー



新しい会場は2階建ての戸建てでゆったりとした雰囲気です。今後はこの会場に近隣の方々と交えて子どもたちと一緒に活動ができないか考えているそうです。

キャンプ、また近隣の学童保育5、6ヶ所合同のドッジボール大会などですが、コロナ禍にあっても工夫をしながら進めています。

もう一つの特徴は運営を親たちが共同で担っていることにあり、指導員さんたちと日ごろの子どもたちの過ごし方だけでなく、年間行事の企画・実施も一緒に考え手作りで進めていきます。会長の木戸口さんは「多少の負担はありますが、親子が一緒に思い出を作る楽しさには、代えがたいものがあります」と話してくれました。



人 物 紹 介

三 宅 博 久 さん

編集委員として「なかてはら」の制作に長期にわたりご尽力された三宅博久さんがこのほど退任されることになりました。これまでの経歴や自治会でご活躍されたことなどを書いていただきました。



「走馬灯」 三宅博久

都民から昭和40年7月に富士塚に転居以来、平成17年1月5日に仲手原の住人になるその10日ほど前までは、駅前の風月堂さんから南へ行ったことがなく、仲手原という町名のあることさえ知らない私でした。夜各戸の廊下灯が庭先から見えていた妙蓮寺ハウスに居を移し、仲手原の住人となりました。庭の無いマンション住まいとなり時間を余していたところ、本紙第16号のサークル案内の記事

に仲麻会が紹介されておりましたので早速仲間入りしました。参加数回目の時、会場に顔を出された藤井自治会長（当時）に自治会を手伝わないかと声をかけられ即承諾いたしました。すると続いて仲麻会のお仲間の井上さんと臼井さんから自治会の新聞をやりませんかと声が掛かり、これも中学生の頃の学級新聞に始まり、部報、会報、社内報等々と拘わった身として何か運命的なものを感じて編集委員の一員に第18号から加わり今日に至りました。



“長い間ありがとうございました”
三宅さんと最後の編集会議にて

自治会では早速、前職の経験を活かして、会館の不同沈下の是正、身障者用トイレ増設、玄関入口の改修等々を区に助成金の申請をして行いました。併せて将来の建替えのための積立金勘定を設けることを提案しました。その為に自治会費値上げも必要であることを「なかてはら第18号」で会員の皆様にご理解を頂ける様訴えました。平成20年度からは発行回数を2回から3回にふやして頂きました。又、限られた紙面の中で会員の皆様の興味をそそる記事の採択を検討してきました。そして「篠原地区今昔物語」や「班長、組長の体験談」「育メン奮闘記」等々心温まる記事を皆様からの情報によるところ大で掲載することが出来ました。

最後に編集委員会最大のヒットは、「横浜総合印刷」が廃業されたのを機にネット通販印刷に替えた結果、印刷以外の全てを編集委員で行うことになり、発行費をオールカラーで従来の七分の一以下にできました。退任にあたり在任中のご支援に心から感謝いたします。

町のあかい

自治会防犯灯の設置

私たちの町には、様々な課題があります。自治会はこれらの課題の解決に取り組んでいます。



真っ暗な道が明るくなりました

去年からコロナウイルス感染防止のため定期総会を書面表決にしコメント欄を設けたところ、たくさんの方々からご意見やご要望などが寄せられました。その中から検討して一丁目に新しい防犯灯が設置されました。設置場所は多くの方々を利用する駅に通じる近道になる私道です。そこは夜になると真っ暗で側溝や段差もあり高齢の方々などは注意しないと転んでしまいそうな道でした。設置にあたり自治会役員の方々の大変なご苦勞があったようですが「電気がついてうれい」との住民の方々からの大きな反響がありました。



横浜市立白幡小学校

校長 望月 重晴



今年度 4 月 1 日より、白幡小学校の校長を拝命いたしました

した。3 月末まで副校長として白幡小学校におりましたので、地域や保護者の皆様には、いつもあたたかな応援をいただいていたことを実感しておりました。この場をお借りして御礼申し上げます。そして、これからこの地で校長職として務めることをとても有り難く存じます。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4・5 月が一斉臨時休業でのスタートとなりました。今年度は、休業にはなりませんでしたが、感染予防対策をとりながらの教育活動は続いております。今後も、子どもにとって、安心安全に過ごすことができる学校づくりを進めて参ります。これからも、今までと変わらず、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

横浜市港北保育園

園長 大久保 ますね 滋子



都筑区にある横浜市茅ヶ崎南保育園から着任し 2 年目を迎えました。ご挨拶が遅くなり申し訳ありません。

近隣の公園や散歩先などで子ども達に声をかけていただき、地域の皆様は温かく見守られています。元氣いっぱい、心にひびく体験を積み重ねられる環境の中で、好奇心と探求心にあふれた毎日を過ごしています。コロナ禍ではありますが未来を担う子ども達の健全な成長を願って、これからも地域の中でお役に立てる保育園でいたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



防犯カメラ 増設

前回増設した自治会事務所裏の防犯カメラは「仲手原二丁目公園」の遊具方向を監視しています。

自治会だより

※ 行事予定は変更される可能性があります。その都度「回覧」等でお知らせします。

7 月 「なかてはら」第 59 号発行

8 月 夏祭り (中止)

(神社での祭事のみ実施)

9 月 3R 夢施設見学会 (未定)

10 月 秋のふれあい祭り・さん祭り (9 日)

健康づくり体操 (未定)

仲手原防災訓練 (23 日)

(安否確認訓練他)

11 月 防災キャバン (未定)

健民祭 (未定)

仲手原寄席 (未定)

健康づくり体操 (未定)

年末たすけあい募金集金

訂正 第 58 号掲載記事「なかてはら読者のページ」・「新型コロナウイルス感染症拡大中の生活」の投稿者名に誤りがありました。次の通り訂正し、お詫びします。

(誤) 平山清二 (正) 平山清司

編集スタッフ

伊東美奈子・植木幹造・押尾泰典・

加藤篤志・芳賀宏江・宮田純子

編集責任者・中村泰雄